

看護師等養成所の運営に関する手引き

別表2 助産師に求められる実践能力と卒業時の到達目標と到達度（案）

■卒業時の到達度レベル

I：少しの助言で自立してできる II：指導のもとでできる III：学内演習で実施できる IV：知識としてわかる

実践能力	卒業時の到達目標			到達度	
	大項目	中項目	小項目		
I. 助産における倫理的課題に対応する能力	1. 母子の命の尊重		1 母体の意味を理解し、保護する	II	
			2 子供あるいは胎児の権利を擁護する	II	
			3 両者に関わる倫理的課題に対応する	II	
II. マタニティケア能力	2. 妊娠期の診断とケア	A. 妊婦と家族の健康状態に関する診断とケア	4 時期に応じた妊娠の診断方法を選択する	I	
			5 妊娠時期を診断（現在の妊娠週数）する	I	
			6 妊娠経過を診断する	I	
			7 妊婦の心理・社会的側面を診断する	I	
			8 安定した妊娠生活の維持について診断する	I	
			9 妊婦の意思決定や嗜好を考慮した日常生活上のケアを行う	I	
			10 妊婦や家族への出産準備・親準備を支援する	I	
			11 現在の妊娠経過から分べん・産じょくを予測し、支援する	I	
			12 流早産・胎内死亡など心理的危機に直面した妊産婦と家族のケアを行う	II	
			B. 出生前診断に関わる支援	13 最新の科学的根拠に基づいた情報を妊婦や家族に提示する	II
				14 出生前診断を考える妊婦の意思決定過程を支援する	III
			3. 分べん期の診断とケア	C. 正常分べん	15 分べん開始を診断する
	16 分べんの進行状態を診断する	I			
	17 産婦と胎児の健康状態を診断する	I			
	18 分べん進行に伴う産婦と家族のケアを行う	I			
	19 経膈分べんを介助する	I			

		20	出生直後の母子接触・早期授乳を支援する	I
		21	産婦の分べん想起と出産体験理解を支援する	II
		22	分べん進行に伴う異常発生を予測し、予防的に行動する	I
	D. 異常状態	23	異常発生時の観察と判断をもとに行動する	II
		24	異常発生時の判断と必要な介入を行う	
			(1)骨盤出口部の拡大体位をとる	I
			(2)会陰の切開及び裂傷後の縫合を行う	III
			(3)新生児を蘇生させる	III
			(4)正常範囲を超える出血への処置を行う	III
			(5)子癇発作時の処置を行う	IV
			(6)緊急時の骨盤位分べんを介助する	IV
			(7)急速遂娩術を介助する	II
			(8)帝王切開前後のケアを行う	II
		25	児の異常に対する産婦、家族への支援を行う	IV
		26	異常状態と他施設搬送の必要性を判断する	IV
4. 産じょく期の診断とケア	E. じょく婦の診断とケア	27	産じょく経過における身体的回復を診断する	I
		28	じょく婦の心理・社会的側面を診断する	I
		29	産後うつ症状を早期に発見し、支援する	II
		30	じょく婦のセルフケア能力を高める支援を行う	I
		31	育児に必要な基本的知識を提供し、技術支援を行う	I
		32	新生児と母親、父親、家族のアタッチメント形成を支援する	I
		33	産じょく復古が阻害されるか否かを予測し、予防的ケアを行う	I
		34	生後1か月までの母子の健康状態を予測する	I
		35	生後1か月間の母子の健康診査を行う	I

		36	1か月健康診査の結果に基づいて母子と家族を支援し、フォローアップする	Ⅱ
		37	母乳育児に関する母親に必要な知識を提供する	Ⅰ
		38	母乳育児に関する適切な授乳技術を提供し、乳房ケアを行う	Ⅱ
		39	母乳育児を行えない／行わない母親を支援する	Ⅰ
		40	母子愛着形成の障害、児の虐待ハイリスク要因を早期に発見し、支援する	Ⅲ
	F. 新生児の診断とケア	41	出生後24時間までの新生児の診断とケアを行う	Ⅰ
		42	生後1か月までの新生児の診断とケアを行う	Ⅰ
	G. ハイリスク母子のケア	43	両親の心理的危機を支援する	Ⅱ
		44	両親のアタッチメント形成に向けて支援する	Ⅰ
		45	NICUにおける新生児と両親を支援する	Ⅳ
		46	次回妊娠計画への情報提供と支援を行う	Ⅱ
5. 出産・育児期の家族ケア		47	出生児を迎えた生活環境や生活背景をアセスメントする	Ⅰ
		48	家族メンバー全体の健康状態と発達課題をアセスメントする	Ⅰ
		49	新しい家族システムの成立とその変化をアセスメントする	Ⅱ
		50	家族間の人間関係をアセスメントし、支援する	Ⅱ
		51	地域社会の資源や機関を活用できるよう支援する	Ⅱ
6. 地域母子保健におけるケア		52	保健・医療・福祉関係者と連携する	Ⅱ
		53	地域の特性と母子保健事業をアセスメントする	Ⅱ
		54	消費者グループのネットワークに参加し、グループを支援する	Ⅳ
		55	災害時の母子への支援を行う	Ⅳ
7. 助産業務管理	H. 法的規定	56	保健師助産師看護師法等に基づく助産師の業務管理を行う	Ⅳ
	I. 周産期医療システムと助産	57	周産期医療システムの運用と地域連携を行う	Ⅳ
		58	場に応じた助産業務管理を実践する	
			(1) 病院における助産業務管理を実践する	Ⅳ

			(2) 診療所における助産業務管理を実践する	IV	
			(3) 助産所における助産業務管理を実践する	IV	
Ⅲ. 性と生殖のケア能力	8. ライフステージ各期の性と生殖のケア（マタニティステージを除く）	J. 思春期の男女への支援	59	思春期のセクシュアリティ発達を支援する	Ⅲ
			60	妊娠可能性のあるケースへの対応と支援を行う	IV
			61	二次性徴の早・遅発ケースの対応と支援を行う	IV
			62	月経障害の緩和と生活支援をする	Ⅲ
			63	性感染症予防とDV予防を啓発する	IV
			64	家族的支援と教育関係者及び専門職と連携し支援する	IV
		K. 女性とパートナーに対する支援	65	家族計画（受胎調節法を含む）に関する選択・実地を支援する	I
			66	健康的な性と生殖への発達支援と自己決定を尊重する	IV
			67	DV（性暴力等）の予防と被害相談者への対応、支援を行う	IV
			68	性感染症罹患のアセスメント・支援及び予防に関する啓発活動を、他機関と連携して行う	IV
			69	生活自立困難なケースへ妊娠・出産・育児に関する社会資源の情報を提供し、支援する	IV
		L. 不妊の悩みを持つ女性と家族に対する支援	70	不妊治療を受けている女性・夫婦・カップル等を理解し、自己決定を支援する	IV
			71	不妊検査・治療等の情報を提供し、資源活用を支援する	IV
			72	家族を含めた支援と他機関との連携を行う	IV
		M. 中高年女性に対する支援	73	健康的なセクシュアリティ維持に関する支援と啓発を行う	Ⅲ
74	中高年の生殖器系に関する健康障害を予防し、日常生活を支援する		IV		
75	加齢に伴う生殖器系の健康管理とQOLを支援する		IV		
Ⅳ. 専門的自律能力	9. 助産師としてのアイデンティティの形成	76	助産師としてのアイデンティティを形成する	I	